

マスカスタマイゼーション実現に向けた生産進捗・稼働状況の可視化

生産の進捗と設備の稼働状況を一元的に可視化。多品種少量での高効率生産モデルを構築します。


 製造業

「生産の見える化の進化」と「工場制御周期の高速化」をテーマに、先進のIoTと現場のノウハウを融合。マスカスタマイゼーションに対応する高効率生産の次世代モデルを構築し、最適生産を支援します。

課題

Challenges

超多品種少量生産を高効率で実現する生産モデルの構築が不可欠

- 超多品種少量生産を大量生産並みの生産性で実現するマスカスタマイゼーションに対応し、「必要なものを、必要なときに、必要な量だけ」つくる究極の高効率生産モデルを構築したい。
- 個別の要求に応じた生産、急な納期・仕様の変更による生産計画の変更にも迅速に対応したい。

ソリューション

Solutions

生産の進捗と設備の稼働状況を一元的に可視化・分析

- 製造現場の状況をリアルタイムに見える化する「進捗・稼働監視システム」を提供します。
- 生産の進捗状況と設備の稼働状況を同時に監視することで、全体視点で生産のボトルネックの特定を迅速化。
 - IoTを駆使して、時間単位・分単位で俊敏な部品搬送の作業指示を実現。
 - 時々刻々と変化する生産実績から、最適な生産スケジュールを自動生成（適用予定）。

特長

Features

日立のデータ収集・統合技術

- 収集したデータを一元的に監視、必要なタイミングで必要な情報を提供可能な監視システムを開発・導入。
- 現場を熟知した企業のノウハウから、生産効率の向上につながるソリューションを提供。
- ワークID（認識タグ）を活用し、工程管理システムと連携させることにより、すべての加工部品が工場内のどこにどのような状態で存在しているかを正確に把握。

効果 Outcomes

マスカスタマイゼーションに対応する高効率生産の実証モデルを構築。

マスカスタマイゼーション実現に向けた生産進捗・稼働状況の可視化

生産の進捗と設備の稼働状況を一元的に可視化。多品種少量での高効率生産モデルを構築します。

導入実績：オークマ株式会社

